



Hybrid Stereo Power Amplifier

ATLAS

ハイブリッドステレオパワーアンプ

アトラス

¥1,500,000 (税別)

エステティクスから待望のハイブリッドパワーアンプ登場！

エステティクスの真空管回路によるプリアンプ、CALYPSO (カリプソ) とベストマッチする待望のパワーアンプの登場です。インプットステージに真空管、アウトプットステージにトランジスタを使用したハイブリッド方式を採用し、それをチョークインプットトランスを用いた安定感抜群のEIコアの電源トランスで確実にドライブ。エステティクスの設計理念である、電源部の充実、信号経路の短縮化、高品質パーツの採用、機械的構造の強化などを忠実に追求し、他のアンプでは得られない立体的な音場空間を再現します。



エステティクスについて

AESTHETIX (エステティクス) は1994年、ジム・ホワイト氏により、アメリカはカリフォルニア州に設立されました。少年時代からオーディオの世界に魅せられていたジムは、販売店の経験を経た後セータデジタルに入社し、アナログとデジタルの両面を広く習得。やがて同社の有名なサラウンドプロセッサーやD/Aコンバーターなどを開発し、今日の名声を築き上げています。エステティクスの今日までのアンプは、主要回路に真空管を使用してきましたが、かと言って真空管が絶対と主張するものではありません。一つのテクノロジーだけを妄信することなく、与えられた条件に対して最も適したものを幅広いテクノロジーの中から確実に選び出すことこそが大切であり、それがエステティクスの設計哲学にもなっているのです。

回路部の特徴

アトラスではフルバランス・ゼロフィードバック回路を採用。インプットステージに6SN7の真空管を用い、アウトプットステージにはバイポーラ型のトランジスタを用いたハイブリッド方式を採用し、両者の優れた点のみを引き出すことに成功しています。インプットステージの真空管が高調波の質感や音色を損なわずに扱うことができるのに対し、アウトプットステージのバイポーラ型トランジスタは低歪率で低インピーダンスのスピーカーを制御する能力を持ち、音楽の複雑な躍動感までも再現します。

入力切替、ミュート、クロスオーバー周波数切替などの各コントロール回路は、マイクロプロセッサーによって制御されています。このプロセッサー回路は操作時のみ動作し、通常は回路自体がまったく動作しないため、再生音に影響をあたえる心配は皆無です。

電源部の特徴

・重量が20kgにもなる電源部には真空管用に一つ、トランジスタ用に二つの全部で三つのチョークインプットトランスを贅沢に採用。アトラスの音の良さの秘密がここに 있습니다。チョークインプットトランスが電源の安定度を飛躍的に高め、電源部の寿命を延ばすことに貢献しており、電源トランスの能力をフルに発揮させています。

・電源トランスは音質重視の観点からE Iコアを採用しており、それらをステンレスカバーに密閉させることにより、電源部に起因するノイズ成分をオーディオ回路に寄せつけません。

その他の特徴

・スタンバイモードを搭載。スタンバイモードでは真空管以外の全てのソリッドステート回路は動作しています。そのため、電源を入れた瞬間から常に良い音質を楽しむことができ、真空管の寿命を延ばすことにも貢献しています。

・異常発熱やDCオフセット、ヒューズ切れをフロントディスプレイで表示。異常があれば一目でわかります。

・バランス・アンバランス入力両方を装備。

・筐体は美しいヘアーライン仕上げのシャーシーとサイドパネルからなる合理的な構造。フロントパネルと底板を一体構造にすることで、きわめて強固な筐体を実現しています。



SPECIFICATIONS

入力	シングルエンド1系統、バランス1系統
入力インピーダンス	530 k
ゲイン	24dB
出力	200W (8 Ω)、400W (4 Ω)
周波数特性	20Hz-20 k Hz +/-0.1dB
最大消費電力	800W
最大外形寸法	454(W) × 191(H) × 457(D)mm
質量	33kg